

参考1：生活記録ノート

毎日新聞 7月9日（毎日新聞は生徒の父親を通じて全文を入手）

男子生徒を巡る動きとノートの記述

	男子生徒の記述	担任の記述
昨年 9月中旬	〈父親の相談を機に、生徒と部活顧問、嫌がらせをしていた生徒が話し合い〉	
今年 4月20日	いいことないし、しっばいばかりだし、もうイヤだ嫌いです。だったら死にたいぜ☆	みんな同じ。環境が変わって慣れていないからね
5月中旬	ずっと暴力、ずっとずっとずっと悪口。やめてといってもやめないし、もう学校やすみたい。そろそろ休みたい氏(※死)にたい	いろいろ言われたのですね。全体にも言おうと思います
中旬	誰一人いない世界に一人ぼっちになったようなかんじ	(※記述なし)
6月上旬	実はボクさんざんいままで苦しんでたんすよ？ なぐられたりけられたり首しめられたりこちょがされたり悪口言われたり！	そんなことがあったの??それは大変、いつ??解決したの?
下旬	もう生きるのにつかれてきたような気がします。氏(※死)んでいいですか？(たぶんさいきんおきるかな。)	どうしたの？テストのことが心配？クラブ？クラス？元気を出して生活しよう
30日	もうすこしががんばってみます。ただ、もう市(※死)ぬ場所はきまつてるんですけどね。まあいいか	明日からの研修たのしみましょうね
7月 3日	〈生徒が発熱で学校を休む〉	
5日	〈生徒が列車にひかれ死亡〉	〈〉は経緯。 ※は毎日新聞が補った

参考2：毎日新聞記事検索情報

「いわき市立中学生いじめ自殺事件」

【事件内容】1985年の事件。市立中学校二年生が同級生から継続的に暴力を振るわれる・金銭を強要されるなどの悪質ないじめを執拗に受け、これを苦にして自殺したもの。

【判決】福島地裁いわき支部は自殺の主たる原因がいじめにあると推認し、学校側の過失と自殺の関係に相当因果関係があり、安全注意義務違反を認め、1,109万円の損害賠償命令を下した。

主犯格生徒の保護者とは500万円で和解。

「富士見中学生いじめ自殺事件」

【事件内容】1986年の事件。中野区立富士見中学校2年生は校内のつっぱりグループに属し、使い走りやかばん持ちなどさせられていたが、いじめの度が次第に増して暴行・葬式ごっこ(先生4人が加わっていた)等のエスカレートした。同グループからの離脱を図ろうとしたことから殴る・蹴るなどのリンチに進み、本人は遺書を残して1986年2月自殺した。

【処分・判決】1986年4月警視庁はいじめに加担していた16人を傷害および暴行容疑で書類送検。

・1986年6月遺族が遺書で名指しされた生徒2名と保護者、ならびに東京都と中野区に対し、東京地裁で損害賠償訴訟を起す。

・1986年9月東京地裁は、名指しされた生徒2名に保護観察処分を下す。

・1994年3月東京地裁は「葬式ごっこはいじめと認めないが、自殺直前に行われた暴行が自殺となった」としていじめそのものを否認。」更に遺書に記されている内容について遺族と生徒の間に問題があったことを示唆していると述べた。被告らに400万円の損害賠償命令を下す。

・1994年5月控訴審の東京高裁は、「葬式ごっこなど、普通の人なら苦痛を感じるはず。それが止められなかった学校にも責任がある。ただし、いじめと自殺との因果は不明である」とのべ、被告らに1,150万円の損害賠償命令を下した。

・教育委員会は、担任教師は学習塾アルバイト行為により諭旨退職、校長と4人の教師に減給処分(校長と2人の教師は自主退職)

以上